

令和6年（2024年）度行政評価シート

令和 6 年 6 月 21 日

評価者	共生共創部長 能條 裕子
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進
目標とするまちの姿	鎌倉のまちがこれまで歩んできたそれぞれの時代の文化を学び、そして触れることのできる環境が整っています。市民が質の高い文化に触れ、また、文化芸術活動の推進が図られることで、市民等の自主的な文化芸術活動が日常的に展開され、新たな文化の創造・発信が常に行われています。			
主な取組	(1)アートマネジメントの充実 より多くの市民が質の高い芸術に触れる機会を提供するため、芸術文化に関する情報を収集します。また、文化施策の研究と検討、企画立案を行います。 (2)参加・鑑賞機会と場の提供 多くの市民が鎌倉の特有の文化に気軽に触れるため、芸術文化振興の拠点となる市の施設が適正に維持・管理されるとともに、文化の質的向上と豊かな市民生活に寄与する文化事業を実施し、市民の文化活動への参加・鑑賞や場の提供を行います。 (3)文化・芸術活動の発信 鎌倉ゆかりの文化芸術の功績、資料等を広く市民等へ知らせるとともに、後世に伝えます。			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

共生共創部

- ①引き続き、所管する文化施設を指定管理制度等により効果的かつ効率的に管理運営する。
 ②鎌倉芸術祭と鎌倉市民文化祭の融合に関する有益性等について、関係者と協議を行い合意を図る。
 ③鎌倉文学館の大規模修繕については、計画通りに再開館できるよう着実に事業を進める。
 ④市民の文化芸術活動を促進するため、文化芸術活動の機会の提供や支援に取り組むほか、次世代を担う子どもたちに向けて、本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供する。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	517,483	460,190	544,958	597,325		
人件費	60,929	58,766	62,260	50,432		
総事業費	578,412	518,956	607,218	647,757	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	共生-22	文化行政推進事業		12,750	16,632	29,382	現状維持	A	現状維持
	共生-23	川喜多映画記念館等管理運営事業		39,564	6,077	45,641	現状維持	A	現状維持
	共生-24	鎌倉芸術館管理運営事業		300,281	8,892	309,173	現状維持	A	現状維持
重	共生-25	鎌倉芸術館大規模修繕等事業		62,450	3,038	65,488	現状維持	A	現状維持
	共生-26	美術館建設準備事業		3,101	760	3,861	改善・変更	B	改善・変更
	共生-27	鎌木清方記念美術館管理運営事業		49,813	6,077	55,890	現状維持	A	現状維持
	共生-28	文学館管理運営事業		37,416	4,478	41,894	現状維持	A	現状維持
重	共生-29	文学館大規模修繕事業		91,950	4,478	96,428	拡充	A	拡充

4. 評価対象年度の主な実施内容

共生共創部

①指定管理者制度による、所管文化施設(鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉芸術館、鎌倉市鎌木清方記念美術館)の管理運営業務を行った。
 各施設ともに、新型コロナウイルスの感染症法の扱いが変更になることで、来館者数増に向けて、より一層魅力的な展示を企画することや、展示解説等の実施、周年事業としての差別化を図るなど、集客の工夫を行うよう促した。
 このほか、旧前田邸の管理業務を行った。
 ②④市民及び鎌倉市文化協会から推薦された者を委員とする市民文化祭企画運営委員会で企画・運営を行い、鎌倉芸術館や鎌倉生涯学習センターにて、市民文化祭(鎌倉市展及び舞台行事発表会)を行った。(主催:鎌倉市、企画運営:鎌倉市民文化祭企画運営委員会)
 ③鎌倉文学館改修設計業務を実施し、基本設計を完了した。
 ④令和5年8月18日から20日まで、鎌倉に古くから伝わる伝統芸能や文化を紹介し、次代を担う世代への興味、関心を高める機会として、市内文化施設等において伝統文化伝承事業(鎌倉彫や座禅、茶道などのワークショップ)を行った。子どもたちが日本の伝統芸能に関心を持つ機会を提供するため、ユネスコの世界無形文化遺産である能楽の稽古を行い、その成果発表として令和6年3月20日に発表会を行った(鎌倉こども能の実施)。また、文化・芸術分野で優秀な成績を収めた鎌倉市内在住・在学の中・小学生以下の個人または団体(11名)に対して、ゆめひかる文化芸術子ども表彰を実施した。このほか、所管する収蔵美術品の適切な保管・管理を行った。

※実施できなかった事業とその理由

若手アート支援事業は、実施方法等を見直すため、今年度の実施を見送った。

5. 成果指標

成果指標①		「文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち」だと感じている市民の割合(鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	市民アンケート調査	
	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	63.2	目標値	64.0	65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	%	
		実績値	未実施	70.9	71.5	67.4				
		達成率	—	109.1%	108.3%	100.6%				

成果指標②		鎌倉市民文化祭観覧者の満足度					出典	所管課調べ		
	令和2年度アンケート実施予定	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	—	目標値	—	—	80.0	81.0	82.0	83.0	%	市展(公募展)における満足度。新型コロナウイルス感染症感染拡大により、令和2年度全面中止、令和3年度一部中止のため、調査未実施
		実績値	未実施	未実施	95.5	92.0				
		達成率	—	—	119.4%	113.6%			%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

共生共創部

・指定管理者制度による所管する各施設の管理運営に関して、建物や設備の修繕等、適切な維持保全に努め、市民の文化活動への支援・促進を図った。
また、長年にわたり、市民や団体(文化協会、鎌倉市芸術文化振興財団等)と連携・協力して文化活動の取組を実施しており、文化都市であることが市民に浸透している。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

共生共創部

・市民文化祭等により市民へ文化芸術活動の機会の提供や支援を行ったほか、伝統文化伝承プログラムや鎌倉子ども能等を実施することにより、次世代を担う子どもたちへ本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供するなど、世代を問わず市民の芸術文化活動の質的向上に寄与し、アンケート指標による目標も達成していることから貢献度はAとした。
・各文化施設の管理運営事業は、指定管理者の専門性を活かすことで、鎌倉芸術館では芸術文化活動の場を提供し、川喜多映画記念館及び鐺木清方記念館美術館では、より多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出しており、市民の芸術文化活動への支援や、文化の振興に寄与していることから貢献度はAとした。
・美術館の建設に当たっては、建設適地の確保、費用の面から、(仮称)鎌倉美術館の建設が難しい状況となり、収蔵する美術品の市民等への鑑賞機会の手法を検討する必要があることから貢献度はBとした。
・鎌倉芸術館及び鎌倉文学館の大規模修繕事業は、老朽化が進み不具合が生じている箇所を計画的に修繕することで、利用者の安全かつ快適な施設利用の実現に寄与したことから貢献度はAとした。

8. 今後の方向性

共生共創部

・心豊かな地域づくりの実現のため、市民が質の高い文化に触れることができるよう、文化芸術に関する情報や活動・交流の場を引き続き提供する。
・新たな文化の創造・発信が常に行われるよう、市民等の文化芸術活動が日常的かつ主体的に展開される拠点づくりを進め、将来に向けて、新たな文化芸術活動の担い手等の発見と発掘に努める。

9. 今年度(評価年度)の目標

共生共創部

①引き続き、所管する文化施設を指定管理制度により効果的かつ効率的に管理運営し、より多くの方に利用していただけるよう工夫する。
②鎌倉文学館の大規模修繕については、計画通りに再開館できるよう着実に事業を進める。
③市民の文化芸術活動を促進するため、文化芸術活動の機会の提供や支援に取り組むほか、次世代を担う子どもたちに向けて、本物の芸術文化や伝統文化に触れる機会を提供する。